

第1話

完璧に見える男の、飾らない素顔

沖縄を、前に。

- 古謝げんた、42歳。
- 那覇市首里・石嶺町生まれ。
- 東京大学薬学部を卒業後、総務省へ。
- 岡山県、長崎県、内閣官房、復興庁、民間。
- そして前 那覇市副市長。

……完璧すぎん？

でもね、
ほんとのげんたさんは、
意外と親しみやすい
わけさ～

まず、お酒が
苦手です。

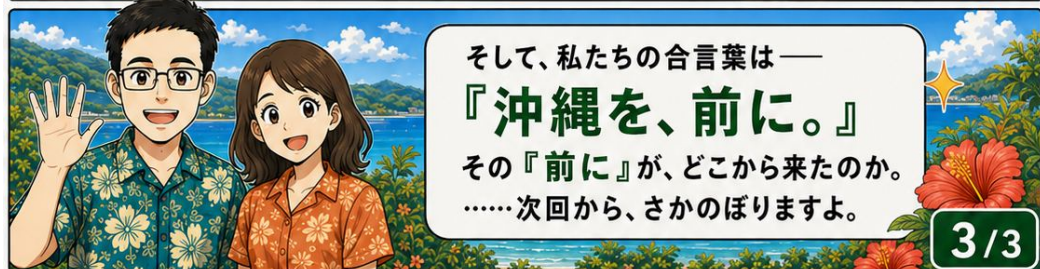
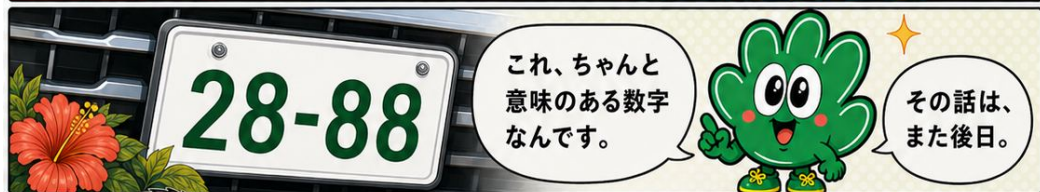
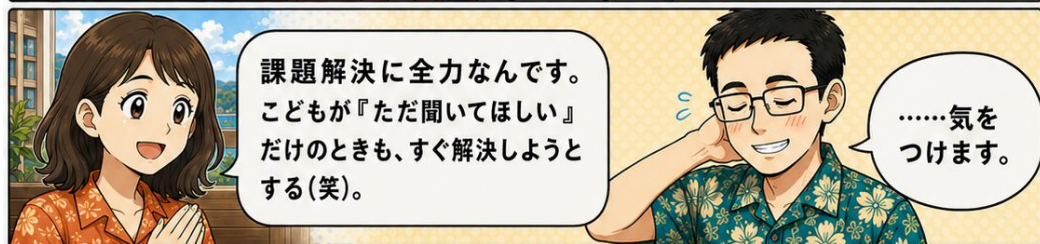
すぐ頭が
痛くなるので、
宴会では
さんぴん茶。

沖縄の宴会で、
さんぴん茶一筋！

意外な一面、まだまだあるよ～

1/3





第2話

沖縄を、前に。

首里の本好き少年— 「帰りたい」が聞こえた日

政治を目指した原点は、友人のひと言でした。



首里・石嶺町。
本を読むのが大好きな少年でした。



父は宮古島出身。本家は古謝そば。
母は広島出身。年越しそばは故郷の味。



昭和薬科大学附属高校で
は野球部。
泥だらけで白球を追い、
勉強にも全力。



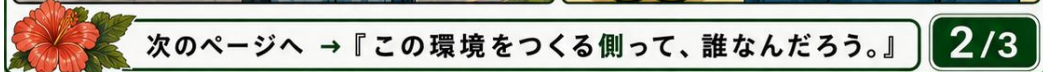
いまでも毎年、
母校の応援へ。

昭和薬科

文武
両道!



1/3





人の話を
聞くうちに、
げんたの中に
ひとつの問いが
生まれた。



「この環境を
つくる側って、
誰なんだろう。」



その答えの先に
見えてきたのが、
政治。
そして県政だった。



帰りたい人が帰れる、
住んでいる人が安心して
暮らせる沖縄を実現したい。
その思いで走り出しました。



次回

第3話

47人の知事を
調べた大学生

大学生が
次にやったこと、
ちょっと普通じゃない!

3/3

第3話

47人の知事を 調べた大学生

東大から総務省へ、逆算の進路

げんたさん、
そこまで調べたの～!?

大学時代。
げんたは本気で
県政を目指し始めました。

地方自治論
行政学
憲法

でも就活で
『沖縄県知事募集』は、
ありません。

求人情報

さて、
どうする?

そこで調べたのが、
当時の47都道府県知事の経歴。

2006年ごろの調査
47人中15人が
総務省(旧自治省)出身

都道府県知事
名簿・経歴集

知事
プロフィール
データ集

1/3

知事は
政治家であり、
行政組織の
トップでもある。

国	国の制度づくり
地方	地域の課題解決
制度	仕組みをつくる
予算	財源を動かす



データで見る知事の経歴（2006年ごろ）

2006年ごろの調査では、
自治省系15人、通産省系9人。
ほかにも各省庁出身者がいました。

自治省系
15人

通産省系
9人

その他の
省庁出身者

※出典：日本経済新聞（2006年10月17日）を基に作成



国の制度も、
地方の現場も
学べる道へ進もう。

国の制度
を知る

地方の現場
を知る

就活前に
全国の知事の
経歴分析……
やっぱりちょっと
変わってる！

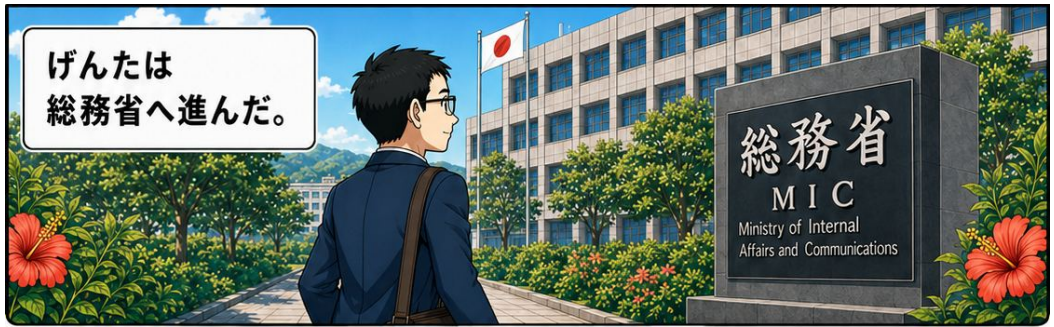
知事の経歴分析メモ

自治省系出身 15人
通産省系出身 9人
その他の省庁出身 約15人

やっぱりちょっと
変わってる！

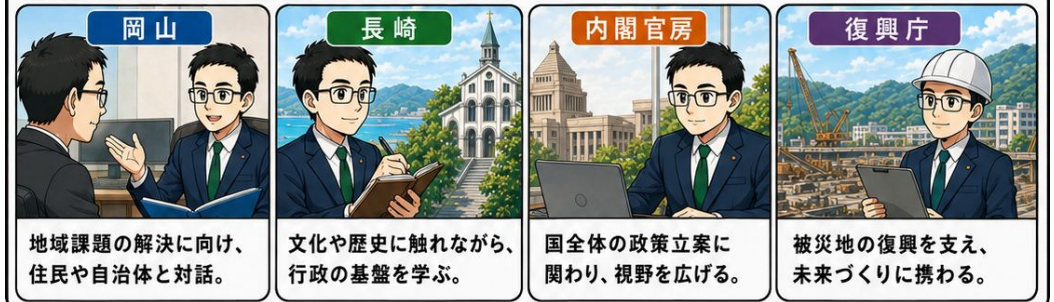
都道府県知事
経歴データ集

2/3



げんたは
総務省へ進んだ。

地方と国、それぞれの現場で経験を積んだ。



岡山

地域課題の解決に向け、
住民や自治体と対話。

長崎

文化や歴史に触れながら、
行政の基盤を学ぶ。

内閣官房

国全体の政策立案に
関わり、視野を広げる。

復興庁

被災地の復興を支え、
未来づくりに携わる。



長崎県庁では
5年間、
課長を務めた。

そこで出会ったのが、
「高田 勇」さんの存在だった。
人を想う力と、県を動かす力で、多くの人から
信頼された、長崎の誇りある元知事。

決断する力と、
包み込む心。
リーダーには、
その両方が要る。



そして2022年。約20年前の思いを胸に沖縄へ。
——このときは、まだ単身だった。

ここから、
げんた人生
最大級の
『悔しい日』が
やってくる。

第4話

2888票の涙— 終われない理由

沖縄から、日本の未来をつくる挑戦

2022年。

参議院議員選挙に挑戦。

まだコロナ禍で、

イベントも少なかった。

単身で沖縄に戻り、
実家から
約4か月走った。

結果は

27万1347票。

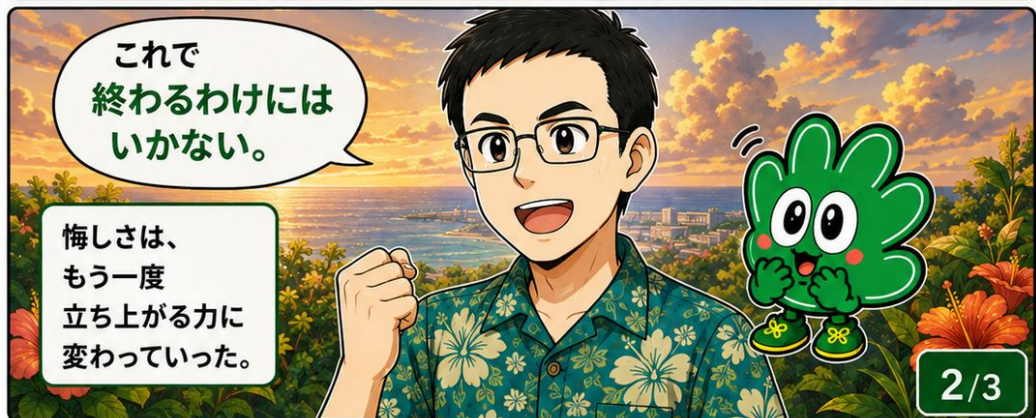
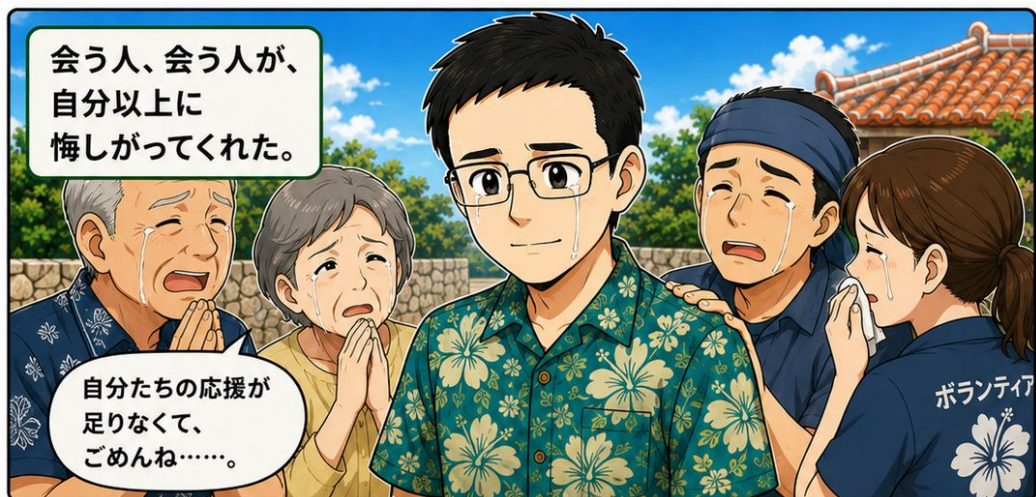
差は 2888票。

あと、もう少し
だった…!

負けた瞬間は、
「ああ、終わったな」
と思いました。

げんたさんは、
本当にがんばったよ。
その想いは、
ちゃんと届いてるよ。

1/3



落選後、
げんたは家族を
沖縄に呼び寄せた。

次の選挙までは、
まだ考えていなかった。



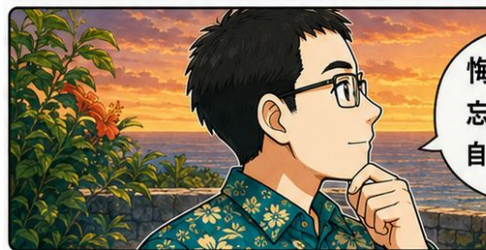
沖縄でしっかり
頑張る。
そのために経験を
積んできたん
だから。



その後に買った中古車。
ナンバーは『28-88』。



悔しさを
忘れないための、
自分への戒めです。



2888は
『負けた数字』ではなく、
もう一度立ち上がった数字になった。



次回 第5話 恩返しの副市長時代——現場で動かす

3/3

第5話

恩返しの副市長時代—— 現場で動かす



参院選のあと、
沖縄のベンチャー企業で
働いていた。

プレゼン構成メモ

- ・課題
- ・解決策
- ・市場性
- ・今後の展望

そこへ突然、
那覇市副市長の
話が来る。

ちょうど
プレゼン資料を
作っていて。
「あ、プレゼン
どうしよう！」って
(笑)。



いちばん
迷惑を
かけたのは？

ベンチャーの
社長です。
ちゃんと
謝りました。

Okinawa
Innovation
Base

2022年12月、
副市長就任。

那覇市役所





副市長として
学んだのは、
アイデアを言うことより、
どう実行するかでした。



役所内外をつなぐ



市役所の外の知恵や力を
積極的に取り入れます。

担当部署をつなぐ



縦割りをなくし、情報と
課題を共有します。

地域の声を聞く



現場へ足を運び、声を
施策に反映します。

企業・団体とも連携する



企業や団体の力を借りて、
まちの未来を動かします。



で、この
3年2か月。
じつは“通信簿”が
あるんです。



つけたのは—
当時の上司。



次回 第6話

上司の通信簿——43億円と、5000人

3/3

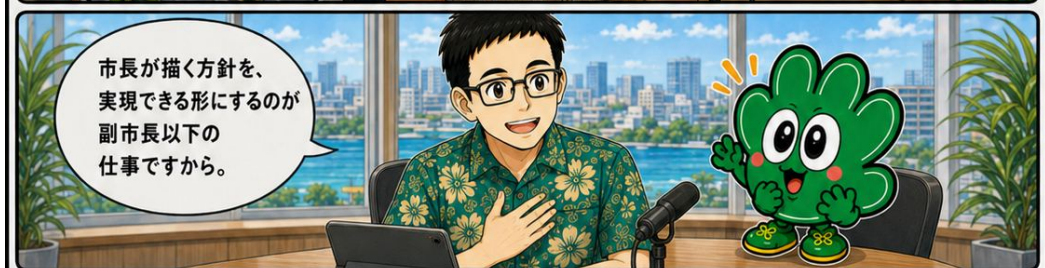
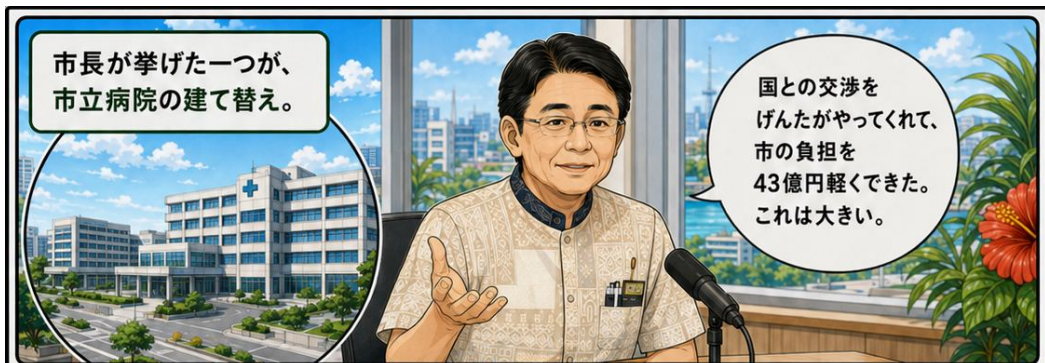
第6話

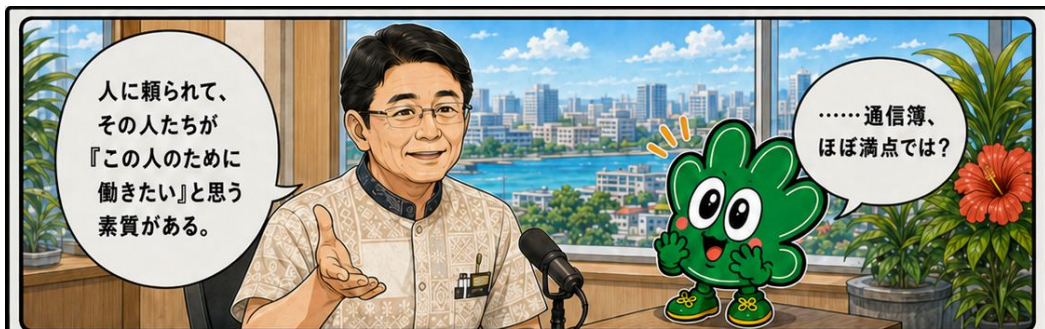
沖縄を、前に。

上司の通信簿—— 43億円と、5000人

対談企画：市政の舞台裏を語る







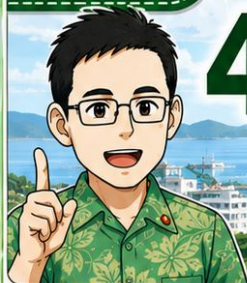
次回 **第7話** 41市町村をめぐる旅——聞くには体力もいる

第7話

41市町村で聞いた現場の声

41市町村をめぐる旅

≡ 聞くには、体力もいる ≡



副市長を
退任したあと、
げんたは沖縄県内
41市町村を
回り始めた。



本島北部から
南部へ。
宮古・八重山など、
離島へ、集落へ。

資材も燃料も
上がってよ。
作っても、もうけが
残らんわけさ。



船を出すほど、
赤字になる
日もあるさ。



島には高校がなく、
15歳で親元を
離れるんです。



場所が変われば、
困りごと**も可能性も変わる。**



1/3

離島の交通は、暮らしの命綱

離島では、
天候だけでなく、
機材トラブルで
行けない日も、
帰れない日も
ありました。



飛行機や船は、
旅行の足だけではありません。
人や生活物資を運び、
島で暮らし続けるための
命綱です。



航空機や船舶を
計画的に更新し、
島の生活路線を
守る。



交通を守るだけでは
十分ではありません。
島ごとに稼げる産業を育て、
次の担い手をつくる。



「聞く力」だけではない。
「聞きに行く脚力」もあります！



2/3



NAHAマラソン
2023年・2025年完走

41市町村の声を、3つの柱へ

41市町村を回ったのは、
数を誇るためでは
ありません。

その土地へ行かなければ、
聞けない声があるからです。

41市町村で
聞いた声を整理すると、
沖縄の未来に必要な
3つの柱が
見えてきました。

41市町村で聞いた声

- 子どもたちの未来
- 自然や文化
- 新しい挑戦
- 人と人のつながり

まもる
命・暮らし・文化

ひらく
可能性・産業・挑戦

つなぐ
人・地域・未来

まもる・ひらく・つなぐ

ここからは、
その中身へ！

この3つが、
沖縄の未来を
動かすカギだよ！

次回

第8話

まもる

沖縄の自然・文化・暮らしを、
次の世代へ。

3/3

第8話

沖縄の未来をつくる三つの柱

まもる

沖縄の自然・文化・暮らしを、
次の世代へ。



一つ目の柱は、
『沖縄をまもる』。

まもるのは、暮らし、
命と健康、子どもたちの未来。
そして、沖縄の文化と誇りです。

物価が上がり、
所得が
追いつかなければ、
暮らしは
苦しくなる。



暮らしを支える。
同時に、働く人と
企業の『稼ぐ力』も
高める。



大切なものを守り、次の世代へ。



暮らし



命と健康



子どもたちの未来



沖縄の文化と誇り

1/3

子育てを、切れ目なく支える

妊娠・出産



乳幼児期



保育・幼児教育



学校



放課後



妊娠・出産から放課後まで、切れ目なく支える。

給食費・保育料・教育費の負担を軽くし、家計にゆとりを。

給食費



保育料



教育費

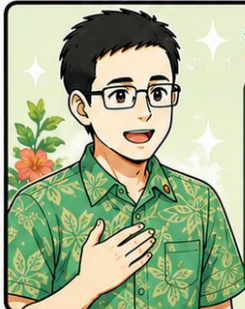


保育士不足で、受け入れられない現場がある。



保育士の処遇と働き方を改善し、続けられる職場へ。

- ✓ 給与・手当の改善
- ✓ 休暇を取れる代替要員
- ✓ ICTで書類負担を軽減
- ✓ 研修・復職支援



子育てを支える人も、支える。



2/3

命・居場所・平和を、次の世代へ

沖縄を築いた先輩方へ



住み慣れた地域で、
健康に暮らし続けられるように。

健診

運動

食事

フレイル予防

家でも学校でもない、
安心できる『居場所』を地域に広げる。



食事

学習

相談

沖縄戦の記憶と教訓を、次の世代へ。
平和を願う『沖縄のこころ』を発信する。



守るって、
立ち止まること
じゃないんだね。



大切なものを
未来へ残すために、
変えるべきところは変える。
それが『まもる』です。

守るために、変える。

次回

第9話

ひらく

長崎でエイサーを見た日

3/3

第9話

ひらく—— 41市町村で見つけた、ワクワクの種

若者が『ここで挑戦したい』と思える希望を、沖縄の各地で見つけた。

41市町村を回ると、
地域ごとに宝がある。

例えば、黒島にも、
コザにも、
未来の種がある。

黒島畜産 | 小さな島に、大きな畜産の力。

黒島

人口約220人に対して、
牛3000頭以上。

コザのスタートアップ商店街 | 商店街から、スタートアップの挑戦が生まれる。

挑戦が
未来をつくる

KOZA
から、世界へ

地域の人の想いと、
挑戦する若者の力が
つながって、
未来がひらかれていく！

ワクワクの種、
見つけた！

地域の宝は、もう動き始めている。

1/3

やんばるの恵みと、OIST発ベンチャー

地域の資源と、研究の力。どちらも沖縄の未来をひらく。

やんばるの
農産物は、
育てるだけでなく、
加工・販売・
ブランド化で
仕事になる。



OIST発
ベンチャーが、
沖縄から
世界へ挑戦している。



研究が、
起業と雇用に
つながる。



農業も、
研究も、
沖縄の
可能性だ。



種を育てれば、
仕事に
なるんだね！

挑戦の芽を、産業の力に変える。

2/3

第9話

ひらく——未来は、地域から生まれる

若い世代が、『ここで挑戦したい』と思える沖縄へ。

クリエイター

農業

私がひらきたいのは、
地域の宝と人の挑戦を、
仕事と希望に変えること。

学生

『**ここで挑戦したい**』
と思える沖縄を、
もっと増やしたい。

若い世代が、
未来を選べる島へ。

研究者

起業家

ワクワクの種、
ちゃんと
育てよう！

地域の宝と人の挑戦を、**仕事と希望**に変える。

次回

第10話

聞いて、まとめて、沖縄をつなぐ

3/3

第10話

つなぐ—— 10年、開かれていない会議がある

聞く人から、声をまとめて動かす人へ。

3つ目は
『沖縄をつなぐ』。

私は、
ものすごいアイデアで
ガンガン引っ張るタイプ
ではありません。

いろんな声を
集めて、
政策にまとめて、
実現まで
マネジメントする。
そういうタイプです。

聞く→
まとめる→
動かす、
ですね。

派手な
カリスマより、
現場の声を
つなぐ力。

1/3

第10話

沖縄の声を、一つにして届ける

バラバラではなく、沖縄全体の力で国を動かす。

たとえば
『沖縄政策協議会』。
国の大臣と沖縄県知事が、
沖縄の政策を
話し合う場。

国（東京）

沖縄県

それが、
10年近く
開かれて
いない。

10年近く
未開催

県と市町村が、
別々に国へ
要望することもある。

県

A市町村

B町村

C村

バラバラで行くより、
沖縄の声を一つにして
国に届ける。

だから
『やんばる知事室』
『宮古知事室』
『八重山知事室』。

やんばる知事室

宮古知事室

八重山知事室

知事が
現場の声を
聞く機会を
仕組みにする。

知事が、
離島に『聞くための
部屋』を持つ！

つなぐ仕組みが、沖縄の声を強くする。

2/3

第10話

聞いて、まとめて、沖縄をつなぐ

政策は、掲げるだけでなく実行まで動かす。

G.O.K.U



若手経営者同士の交流と
地域課題の共有

とびなは



職員と市民と一緒に学び、
アイデアを形にする場

すいまーいラン



首里のまちなかを走り、
歴史や人の温かさをつなぐ



私は、
人と人をつないで、
化学反応を起こすことが
好きなんです。



政策は、
掲げただけでは
意味がない。
実行されなければ
意味がない。



聞く。
まとめる。
つなぐ。
動かす！



まもる・ひらく・つなぐは、
別々の政策ではない。
沖縄を前に進めるための三本の足。



次回

第11話

豊かな島なのに、暮らしが苦しい
未来の前に、いまを見る

後半ストーリー
のはじまり

3/3